

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年3月5日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野 由美子

1.開催日時	2024年2月22日	(木)	19:00	～	20:30	
2.会場	オンライン/対面(ハイブリッド方式)					
3.主催センター	鶴2	・	鶴1	・		
4.参加人数	26人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	3人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	11人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	3人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(医薬卸1人)				
6.開催テーマ	「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」					
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>					
8.会議の内容	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養部会からの報告(1月のレシピ等配布状況) ・レッツケア会議発送前最終確認。内容について承認され、2/26に圏域合同地域ケア推進会議の案内を送った全ての事業所へ発送となる。 <p>○協議事項 次年度テーマ「防災」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での防災の取り組みを知るために、まずは鶴川地区協議会と鶴川地区社会福祉協議会の関係性、役割等について、鶴2島村センター長より説明。 ・今後の地域ケア会議での検討テーマ(防災の何に重点を置くのか)について協議。様々な災害想定を踏まえた対応の検討やBCPの延長上として実際にシミュレーションする必要がある、そのためにもまずは自らが防災の基本を知る必要があるといった意見が多かった。 					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>発災時に地域住民とどのように連携していくのか、利用者をどう守るか、具体的な事例を設定してシミュレーションを行い検討していく方針となる。</p> <p>その前段階として、自助・防災のヒントについて、鶴川消防へ講話の打診をしていく。</p>					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日

3月 5日